

黒星病の重点防除時期(花蕾着色期)を間もなく迎えます。今後の降雨に注意し、適期に防除を実施しましょう。

現在の状況

- 1 前年の黒星病発生量は平年よりやや多く、本年の伝染源量は多いと考えられる(右図)。
- 2 「ふじ」の展葉期(盛岡)は平年より14日早く進んでおり、本病の重点防除時期である「花蕾着色期」は4月第3半旬、「開花直前」は4月第4半旬と見込まれる。
- 3 1ヵ月予報(4月6日、仙台管区气象台発表)では、4月第3、4半旬の気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並みの見込みであり、重点防除時期に感染好適日が出現すると予想される。

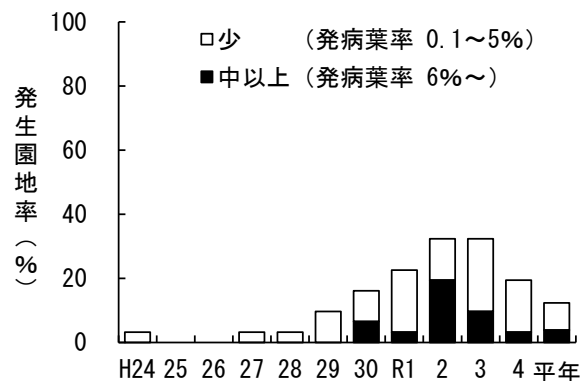


図 黒星病(葉)の発生園地率の年次推移(年間評価)

防除対策

- 1 黒星病の発生を防ぐためには、花蕾着色期の防除は必須である。
- 2 本病に効果の高い剤(DMI剤、カナメフロアブル、ミギワ20フロアブル)は降雨直後に散布すると効果的であるので、降雨に合わせて速やかに散布する。
- 3 花蕾着色期にDMI剤やカナメフロアブルを散布すると、モニリア病も同時防除される。
- 4 散布ムラが無いように十分量を丁寧に散布する。



写真1 果そう葉の葉裏病斑

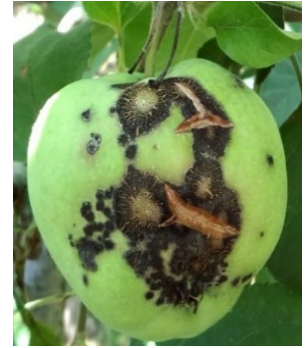


写真2 果実病斑

【利用上の注意】

本資料は、令和5年4月5日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・ 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬使用の際は(1)使用基準の遵守 (2)飛散防止 (3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

